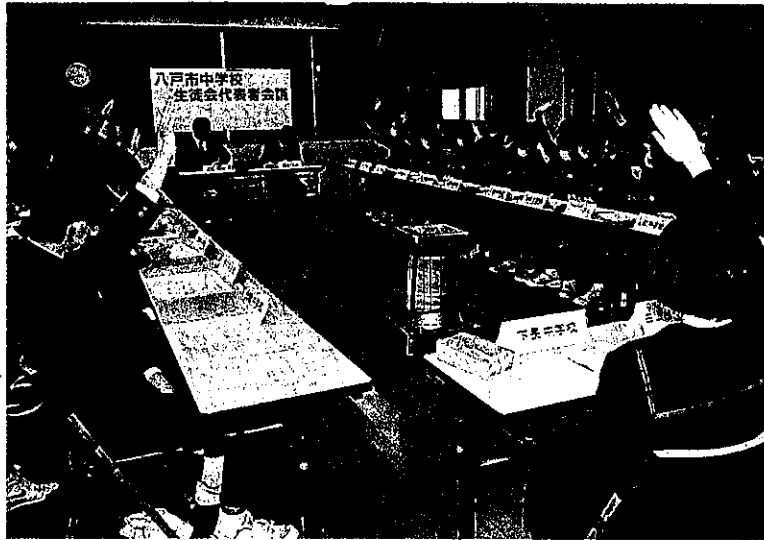


# 安全なネット利用法は

## 八戸の中学校生徒会長ら代表会議



インターネットの利用法について意見を話し合う  
生徒会長ら＝25日、八戸市立湊中

生活の一部となりつつあるインターネット。八戸市内でも、小・中学生の携帯電話やスマートフォン所持率は、過去5年で2割から4割に急増。比例するようにネットをめぐるトラブルも増加している。そんな中、生徒の意識付けを狙い、市内全26中学校の生徒会長らによる代表者会議(中学校校長会主催)が25日、市立湊中で開かれた。使用時間のほか、相手を思いやった言葉遣いなどに関して提言を決定。各学校で安全な使い方を呼び掛けるなどして、生徒が主体的に問題解決に取り組む。

(玉川那津美)

### 「思いやり提言」作成

校長会によると、生徒指導主事を対象にしたアンケートで、悪口や無責任なうわさなどの書き込み、個人情報情報の漏えい、成人男性から誘いを受けるなどの被害が散見される。

現状を踏まえ、昨年12月には八戸市教委などが、トラブル防止に関する保護者向けのリーフレットを作成し、配布。併せて、生徒が自ら考えることも大切として、校長会が各学校での話し合いを提案した。

各校は昨年11月からアンケートや話し合いを重ね、ルールを決定。この日、市内25校の生徒会長や市中学生徒指導部会長の北山勝則(湊中学校長)、市中学生

### トラブル回避へ自ら検討

研特別活動部会の石毛清八(湊中学校長)らが出席した会議に持ち寄った。言葉の使い方では、「相手の気持ちを考える」「悪口を言わない、書き込まない」などの意見が、使用時間については、6校が午後9時まで、10校が午後10時までとした。

明治中は14年度から「つながるものは午後9時までに」「インターネットについて、家族と話をしよう」などと約束事を決めてきた。全校の約9割が「守れている」「だいたい守れている」としており、活動の成果が表れているという。

会議では各校の報告を総括した上で、ネットトラブルから身を守る「思いやり提言」を作成した。呼び掛けるのは「相手の気持ちを考え、普段から心を傷つけない言葉を使います」「相手のためにも自分のためにも、断る勇気を持ち、約束した時間を守ります」。使用時間は午後10時までと決めたが、家庭や学校で定めている場合は、そちらを優先するとした。

会議を終え、市川中生徒会長の2年吉田有希さん(14)は「他の学校の意見が聞けて、今後の活動の参考

になった。八戸をみんなでより良い街にしたい」と強調し、校内での取り組みを強化する考え。

北山校長は「保護者だけでなく被害を食い止めるのに限界がある。生徒会が校内で訴え掛け、自分たちで考えることが重要。八戸から近隣の市町村にもこの活動の輪を広げたい」と話している。